

草加のココが聞きたい！

一 般 質 問

一般質問とは、定例会において議員個人が市政全般について市長などの執行部の考えや、方針を質問するものです。

そうか市議会だよりでは、一部の質問を取り上げて要旨を掲載しています。(掲載は発言順です)

なお、草加市議会では、正・副議長、監査委員、議会運営委員会委員長は一般質問等の発言が制限されています。



12月定例会では18人の議員が一般質問をしました！

一般質問の内容は草加市議会ホームページの議会中継(録画放映)からご覧になることができます。また、議会中継のページでは、①「発言通告の内容などでキーワード検索」ができるほか、②「議員名」や③「会派名」ごとに閲覧することができます。



矢部正平 議員

会派 自由市民

不燃ごみ持ち去り禁止条例の制定を！

問 不燃ごみはリサイクルセンターで金属類を取り出し、再生資源として売却しているが実績額は？

不燃ごみ持ち去りの通報件数と、持ち去りを防ぐことで市税収入の増額になると考えるが、不燃ごみ持ち去り禁止条例を制定し、持ち去りを防ぐ考えは？

答 再生資源売却代の令和3年度実績額は約1億5,000万円で、市民から売却しているが実績額は27件あり、不燃ごみについても資源物と同様に条例等に規定することも含め、防止策など調査研究していく。



河合悠祐 議員

無所属

草加の観光地化に向けたPRの取組を！

問 草加市の経済活性化のために市外から多くの方に来ていただく必要がある。私も発信力をつけて、草加市を少しでもPRできればと考えている。

市として観光地化に向けての取組についてより積極的な投資をするべきと考えているが、今後どのような施策やPRを考えておられるのか？

答 限られた財源を有効に活用しながら、これまで実施してきた事業を継続・発展させていくとともに、SNS等の情報発信媒体を用いた効果的な表現方法を行う等の取組を進めていく。



木村忠義 議員

会派 SOKA新政

土地区画整理事業について

問 草加市では土地区画整理事業を進めているが、氷川町第二次土地区画整理事業は昭和43年5月10日、91.7haの区域決定から54年が経過し方向性も明らかに示されていない。実施するのか？住民に丁寧に説明するべきではないか？今後どのように進めていくのか？

答 都市計画決定以降10年で人口が倍増し権利者が多く、減歩による面積の減少、清算金問題等、権利者間でも賛否が割れ合意形成が図れなかった。また、身近な環境整備を進めてきたことが未着手の原因と考える。今後も権利者の皆様を対象に意見交換会を実施し、検討、見直しを進めていく。



石川祐一 議員

会派 公明党

ペットボトルの回収について

問 ペットボトルの回収について、令和3年度における回収量及び売却金額は？

答 回収量は約88万kgで、売却金額は約3,000万円。

問 ペットボトルの回収はリサイクルの促進にもつながり大変重要だと思うが、今後の取組は？

答 リサイクルセンター見学者への説明や、小学校や市民団体への出前講座でペットボトルリサイクルの重要性を説明するほか、本市で発行している「ごみ収集カレンダー」、小学校4年生向けの副読本「くらしとごみ」、草加市クリーンふるさと情報紙やホームページなどを活用し、引き続き啓発していく。

